

MaDo

IFAナビ

法人IFA業界調査 2021

報告書



2021年12月
株式会社想研

— IFA業界の拡大について —

今回の調査で、金融商品仲介業務の個人顧客口座数が、前年と比べて増加したと回答した企業は全体の85.8%であった。また、金融商品仲介預かり残高（投資助言によるラップを含む）が増加した、と回答した企業は全体の93%。金融商品仲介業務の営業収益が増加した、と回答した企業は全体の80%となった。

これにより、口座数、残高、収益の3種類の調査全てにおいて「増加した」企業の割合が昨年の調査結果を上回った。

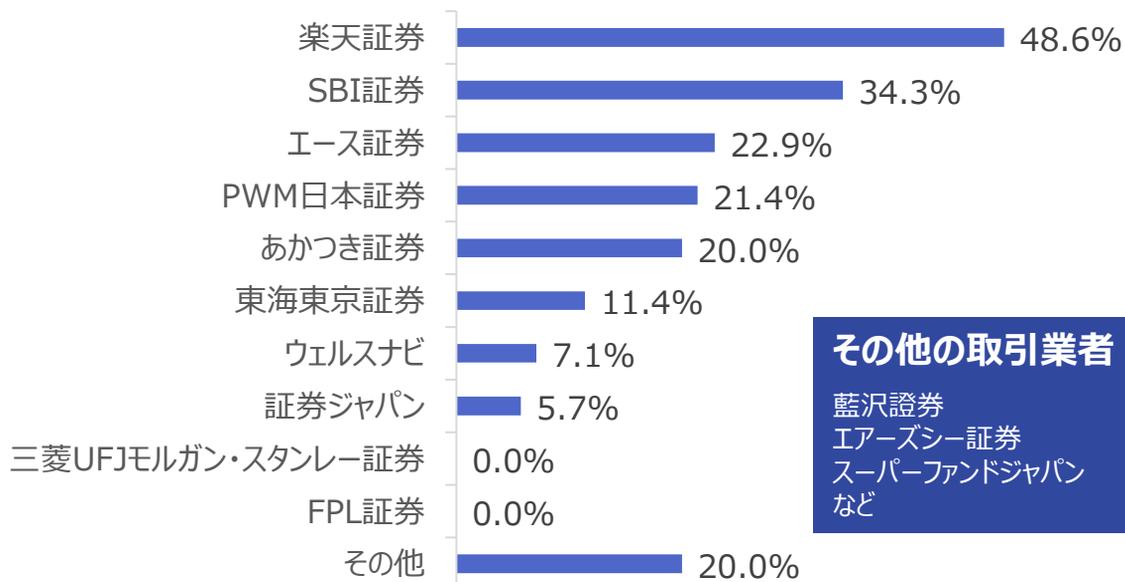
全体として、マーケットが大きく上昇した期間であったためその影響も加味して考える必要があるが、新型コロナウイルス禍が拡大してきた時期でも口座数は堅調に増加しており、IFA業界は着実に成長していると考えられる。

また、これまでの調査結果では、個人顧客口座数や預かり資産残高の増加が先行し、「収益が増加した」の回答割合はそれらほどの増加を見せない傾向にあったが、今回の結果からは収益性の増加が確認できた。

調査概要	[実施主体]	Ma-Do（株式会社想研）
	[実施時期]	2021年9月～10月
	[調査対象]	全国の金融商品仲介業者（法人）
	[調査方法]	インターネット
	[回答数]	70社

回答企業における所属金融商品取引業者の概況

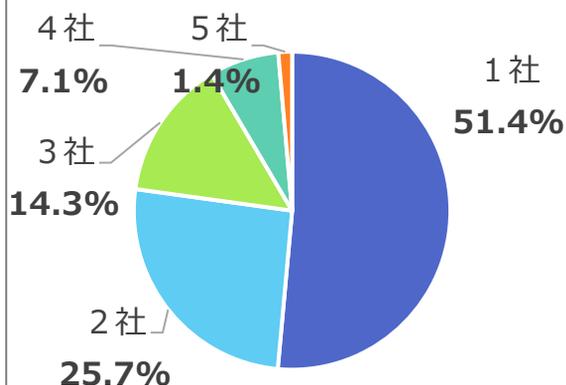
主な所属金融商品取引業者



その他の取引業者

藍沢證券
エアーズシー証券
スーパーファンドジャパン
など

主な所属金融商品取引業者契約数



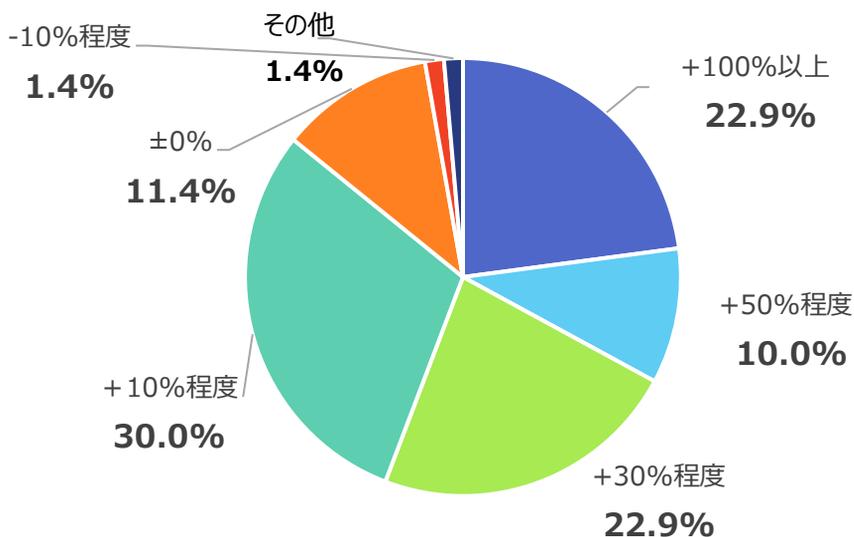
顧客数別の
主な所属金融商品取引業者
契約数（平均）



Q1

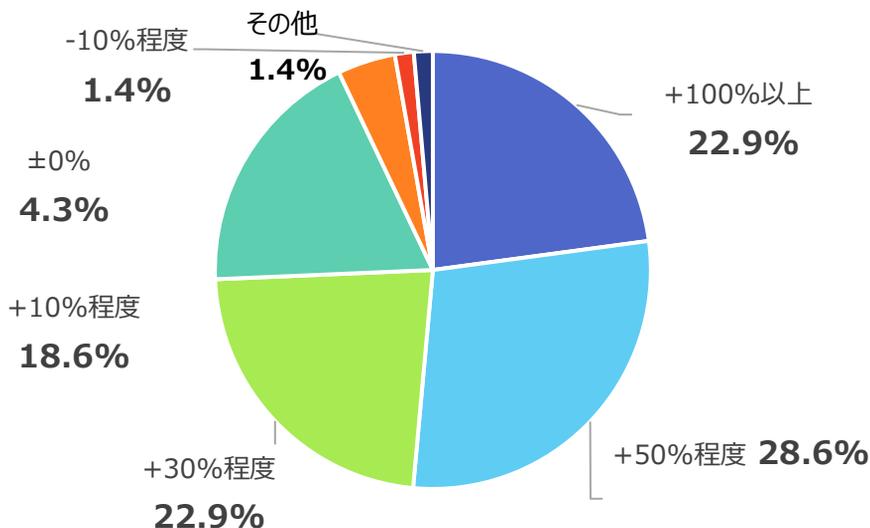
2021年3月末時点の、金融商品仲介業務の個人顧客口座数は、2020年3月末時点に比べてどの程度増減しましたか？

※その他は、業務開始直後で比較不能など



Q2

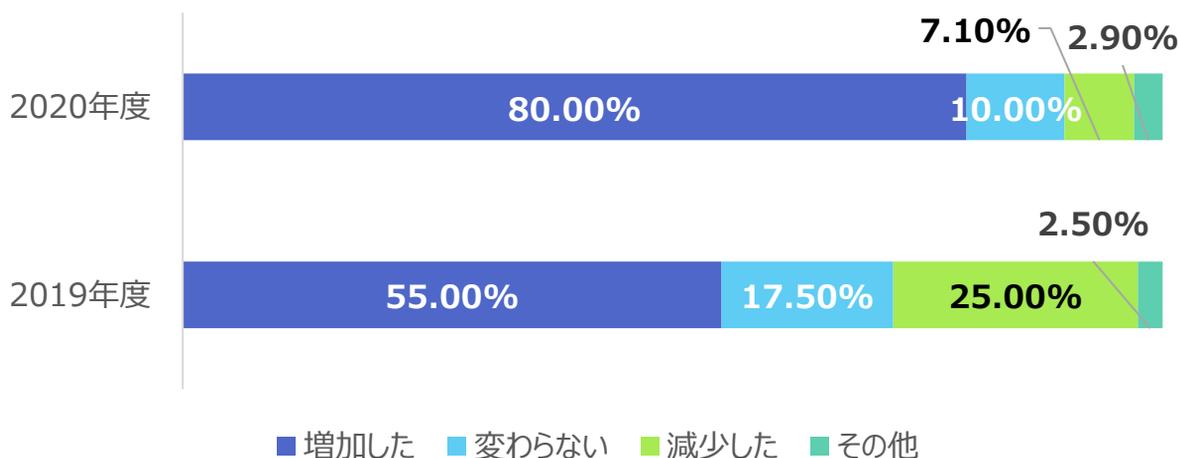
2021年3月末時点の金融商品仲介預かり資産残高（投資助言によるラップを含む）は、2020年3月末時点に比べてどの程度増減しましたか？



Q5-1

2020年度（2020年4月～2021年3月）の営業収益は前年度比で増加しましたか？
該当するものを選択してください。

※その他は、業務開始直後で比較不能など



2020年度の営業収益は増加した割合が80%となり、2019年度の増加が55%に対し、収益増の割合が大幅に増えた。

Q5-2

2020年度（2020年4月～2021年3月）の営業収益に占める金融商品仲介業務の割合をお答えください。該当するものを選択してください。

